

「県北地域感染症情報レター」に関する御意見、御質問等につきましてメールにて返信くださるようお願いいたします。
県北保健福祉事務所生活衛生部医療薬事課 メールアドレス hofukunet_kenpoku@pref.fukushima.lg.jp

★福島県感染症動向調査 週報★！県北地域情報！〈9月28日発表〉

(県内の情報及び週報は、「福島県感染症情報」を検索してください。)

- ・RSウイルス感染症の報告が増えてきています。乳幼児の代表的な呼吸器疾患です。手指衛生で予防しますが、子どものおもちゃを介した感染にも注意してください。
- ・ヘルパンギーナ、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌の小流行が続いています。

結核について

9月24日～30日は結核予防週間です

○結核とは

結核は明治時代から昭和20年代までの長い間、「国民病」「亡国病」と恐れられ、50年前までは死亡原因の第1位でした。現在は生活・医療水準の向上により、薬を飲めば治る病気になりましたが、過去の病気と違って大間違いです。

結核の疫学(2015年)

- ・新たに結核と診断された人...18280人(10万人あたり14.4人)
※福島県全体では、188人(10万人あたり9.8人:少ない方から全国8位)、県北地域では、50人(10万人あたり10.2人)が発症しています。
- ・日本は先進国の中では結核罹患率が高く、中まん延国です。

結核とは、「結核菌」という細菌が原因となり、体の様々な部分に炎症を起こす病気です。一番多いのが肺(肺結核)で、その他にリンパ節、骨、関節、腎臓など様々です。菌が血流にのって全身に広がると、「粟粒結核」となり、体の様々な部分に病巣を作ります。

○感染経路

結核は、空気中に飛び散った結核菌を吸い込むことで感染する、空気感染する病気です。痰に結核菌がいる人が咳やくしゃみをしたときに結核菌が飛び散り、それを近くにいる人が吸い込んで感染するということが多く見られます。食器などの物を介してうつることはありません。

○感染から発病まで

結核に感染した人が、全員発病するわけではありません。多くの方は自分の免疫力で結核菌の活動を抑え込み、発病せずに菌は冬眠状態となります。しかしその後、加齢や病気、疲労など、何らかの原因で人の免疫力が低下したとき、結核菌は暴れ出します。

○症状

咳が2週間以上続く、痰が出る、微熱が続く、体がだるい、急に体重が減るなど様々です。

○もし結核になってしまったら...

結核は、治療期間は約6ヶ月～9ヶ月間に及びますが、しっかりと薬を飲めば治る病気です。薬を途中で止めることなく飲み続けられるよう、病院や薬局、保健所など様々な機関で患者さんを支援していきます。

○予防 **結核は、予防が大切です！**

- ・咳や痰が長引く場合は、早めに医療機関を受診しましょう →自分の重症化を防ぐだけでなく、大切な家族などへの感染を防ぐためにも重要です。
- ・抵抗力の弱い赤ちゃんは、適正な時期にBCG接種を受けましょう →BCG接種は、結核の発病・重症化予防に有効です。

高齢の方では、症状がはっきり出ないこともあります。「何かおかしい」そんな時は早めに病院へ！



☆届出について

結核患者を診断した医師は、直ちに保健所まで届出ることとなっています。

B型肝炎ワクチンが定期接種となります

○B型肝炎とは？

B型肝炎は、B型肝炎ウイルスへの感染によりおこる病気です。ウイルスは体の中に入ると肝炎をおこし、一部は慢性肝炎へと進行します。慢性肝炎になると長期の治療を要し、肝硬変や肝臓がんなど、命に関わる病気へつながることがあります。日本でのB型肝炎ウイルスの感染者は、約100万人(100人に1人)と推定されます。

○感染予防には、ワクチン接種が有効です

感染経路は主に母子感染(ウイルスに感染している母親からの感染)と水平感染(血液などを介した感染)がありますが、知らないうちに感染してしまう危険もあることから、ワクチン接種により感染を予防することが重要です。

B型肝炎を予防することは、肝臓がんを予防することにもなります。

※定期接種は平成28年10月から始まります。定期接種の対象となるのは0歳児で、合計3回接種します。年度早めに生まれたお子さんは定期接種となる期間が短くなってしまうので、計画的に接種しましょう。

(参考) ※公益財団法人 結核予防会 <http://www.jatahq.org/>
※Know VPD!(B型肝炎ワクチンについて) <http://www.know-vpd.jp/hbv/>

